

平成30年

目黒区教育委員会

第32回定例会会議録

(平成30年9月4日開催)

第32回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成30年9月4日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	後藤 幸子
	教育委員会委員	櫻井 道雄

出席職員	教育次長	野口 晃
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	和田 信之
	学校運営課長	村上 隆章
	学校施設計画課長	鹿戸 健太
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	馬場 和昭
	八雲中央図書館長	増田 武

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

- 日程第1 議案第29号 目黒区情報公開・個人情報保護審査会への諮問について
- 日程第2 報告事項 目黒区立中学校における夏季休業中の英語教育事業実施結果について
- 日程第3 報告事項 平成30年度全国学力・学習状況調査結果について
- 日程第4 報告事項 平成30年度目黒区立学校におけるオリンピック・パラリンピック教育について
- 日程第5 報告事項 区立中学校教諭に関わる事件への対応について
- 日程第6 報告事項 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について

資料配布

- ・平成30年度目黒区立中学校案内 めぐろの中学校
- ・夏季休業明けの児童・生徒の欠席状況について

(午前9時30分開会)

- 教育長 第32回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は、後藤委員です。
- それでは、日程第1を議題とします。日程第1は個人情報に関する案件ですので、目黒区教育委員会会議規則第11条第1項ただし書きの規定に基づき、会議を非公開にすることについて発議します。それでは、同条第2項の規定に基づき討論を行うことなしに、直ちに可否を諮ります。非公開とするものの賛成の委員の挙手をお願いします。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、日程第1については非公開で審議することとします。

(午前9時31分、非公開会議入る。)

(午前9時32分、非公開会議終わる。)

- 教育長 ここからは会議を公開とします。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 目黒区立中学校における夏季休業中の英語教育事業実施結果について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)

- 教育長 この件についてご質問等がございますか。

- 委員 このイングリッシュキャンプやイングリッシュ・デイ・キャンプは、子どもたちにとっては行ったときは楽しくて、感想は常にポジティブなものが多いです。話せるようになりたい生かしていきたい。第一の目的は子どもたちに英語に興味・関心を持ってもらって、学びたいという意欲に火をつけるというところだと思いますけれども、それを継続させるための仕掛けのようなもの、例えば、英検を勧めるなど継続して何か学ぶ仕掛けがあれば、より生かすことことができると思いますけれども、どうでしょうか。

あと、今回、イングリッシュ・デイ・キャンプに参加した生徒が来年も参加したいとか、子どもたちの感想はどうだったのでしょうか。

○説明員 つなげる内容としては、年間を通してALTを学校に派遣しておりますので、実際には授業の3回に1回程度はALTが入っているという状況がございます。そこで動機づけ、さらにこのデイ・キャンプに参加することによって飛躍的に意欲を増し、日ごろの授業につなげていくということを考えていました。ただ、ご提案のとおり、例えば英検ですとか、区の施策として何かつなげられることができるかどうかということは、改めて検討材料とさせていただきます。

子どもたちの感想は、来年も参加したいという子どもが何人かいました。ですので、2年生の枠で募集をかけるのですが、定員に満たない場合には3年生や1年生ということで出しますので、今年行ってもう一回行きたいという子どもも行けるチャンスはあると思っております。

○委員 例えばイングリッシュ・デイ・キャンプとかイングリッシュキャンプに参加した子の授業をALTが見て、意欲がほかの参加していない生徒よりもいいとか、積極的だということはどうでしょうか。

○説明員 ご指摘のとおりイングリッシュ・デイ・キャンプに参加した子ども、それからイングリッシュキャンプに参加した子どもが、今後英語の力が伸びているかということを検証したいと思っていて、そういう抽出ができるかどうか、例えば学力テストでその子たちの伸び率が高いかどうかは把握できますので、そういったことで検証できるかどうかを検討しているところです。

○教育長 まず1ページのイングリッシュキャンプの参加者数について、27年度以降おおむね50人ぐらいで推移していますが、参加しない生徒がなぜ参加しないのかという点をどう把握しているのか。あと、参加率について伺います。

○説明員 まず、なぜ参加しないかということに関しましては、この時期、並行して部活動等や他のサマースクールがありますので、それを優先する子どももいると思います。中には部活動に参加したかったけれども、保護者からこちらに参加しなさいと言われ、参加はしているけれども、部活動の様子が気が気でないということを発言している子どももおり、部活動とイングリッシュキャンプとの

両立は難しい課題とっております。

それから参加の割合でございますけれども、約4割弱ということで38%の子どもが参加しているという状況です。

○教育長 イングリッシュ・デイ・キャンプの方ですけれども、なぜ参加しないかは、把握していますか。

○説明員 私どもも、もう少し参加していただきたいかと思っています。バス1台を毎日出していますので、1日に48人までイングリッシュ・デイ・キャンプの実施場所である、TOKYO GLOBAL GATEWAYに連れて行ける状態でしたが、残念ながら学校によって温度差がありました。今後、学校長あるいは英語の先生方にも子どもたちに呼びかけをしていただきたいかと思っています。管理職や英語の先生方が当日参加をしなかったこともあって、参加の強制をしなかったというところもあり、参加を促すような働きかけが弱まったのではないかと分析しております。

○教育長 要望として、できるだけ多くの生徒が参加できるように、部活とかいろいろ理由はあると思いますけれども、特にTGGは新しい取組みでいろいろ周知をしていただいて、実際行った生徒は高い満足度を示していますので、周知に努めていただきたいと思います。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 平成30年度全国学力・学習状況調査結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○委員 目黒区は東京都・全国より正答率が高いということでしたが、全国との比較で、一番トップである秋田県との差などが参考程度にわかれば、目黒区はどのあたりにいるのでしょうか。

2ページ、結果の概要を見ていて正答がゼロ、つまり1問もできていないという子どもが、小学校の算数Bでもあるのは問題かと思えます。そのあたりはどのように受けとめていますか。

先ほど自己肯定感のポイント数が上がりましたという話がありましたが、それは何か理由があるのでしょうか。いいことだと思いますけれども、目黒区として何か行った結果と捉えているので

しょうか。

○説明員

全国の調査結果との比較ですけれども、全国の平均正答率が新聞等でも報道されますので、そこに当区の平均正答率を当てはめてみますと、小学校では国語のA・B、算数のA・B、理科の全てにおいて、秋田や石川等を上回っているという状態で、全国的にも比較的高いという状況です。あくまで平均正答率でございます。

中学校におきましては、国語のA・Bは秋田、石川、福井を上回り数学Bは福井、石川、秋田、富山よりも上回るという状況、理科につきましては石川、福井、秋田、富山、群馬の次という状況です。

それから、回答できなかつた子どもが小学校にいるということで、これは先ほど申し上げたとおり算数・数学は、子どもたちの学力、習熟度の差が大きくなっておりますので、現在も少人数で習熟度別の指導をさせていただいておりますので、ここできめ細やかに指導していくということと、あとは補習や家庭学習等も絡めて、しっかりと苦手な部分を繰り返し行うような指導を、各学校でしていく必要があると思います。

それから自己肯定感の向上につきましては、先ほど申し上げたとおり中学校で13ポイント以上高まったということでうれしい結果だと思っております、これは平成25年度から、体罰防止にあわせてなるべく対話による指導を行うということで、子どもたちのやる気を引き出すような肯定的な声かけをしていこうという取り組みが、功を奏していると考えているところです。

○委員

課題は中学校の数学と理科だと思いますので、数学と理科を今後どのように指導していくかだと思います。

自己肯定感についてはとてもいいと思いますので、それが今度は数学の授業などにも、連動させて引っ張り上げていただきたいと思えます。

あと一問も答えられないという子がいなくなるよう今後の底上げも重ねてお願いしたいと思います。これは要望です。

○委員

この対象の学校には私立の学校は入るのですか。

○説明員

私立の学校も参加することができますので、参加している学校はあると思えます。

○委員

徐々に成果が上がっているように見えますが、なかなか難しいと思われるのが数学、理科だと思います。この授業改善プランの

具体策について、いろいろな形で議論できる材料があればいいと思いますので、こういった全体的な調査結果と数学、理科の授業改善プランの反映、こういったものを分析していただきたいと思います。これは要望です。

○説明員　　この調査は経年でとっていますけれども、今年度は肯定的な評価が小学校80.6%で3年前は76.2%、中学校は78.2%で3年前は66.4%ですので、上がっています。ですので、授業改善は進んでいると捉えております。

その一方で、理科については小学校が57.0%で3年前は64.8%でしたので、授業改善が必要だと考えております。中学校は42.7%で3年前が38.9%でしたので、上がってはいますけれども、まだまだ50分の授業の中で実験をして考察をしてまとめるというところに課題があると思いますので、理科については分析が必要だと思っております。

○教育長　　質問紙調査結果についてお伺いしたいのですけれども、自己肯定感の関係で、確かに自己肯定感と学力の関係は相関関係があるとは思いますが、設問4の小学校を見ると、目黒区の選択肢の④は東京都、全国平均に比べて高いですね。それから中学校のほうの④は、東京都平均よりも低いですが全国よりも高い数字です。このあたりをどう考えていますか。

○説明員　　ご指摘のとおり、自己肯定感が高い子どもに関しては正答率も高くなっているという相関があるという報告がされております。ですので、この自己肯定感を高めていくという活動が必要だと思っております。

一方で自己肯定感が低く、やる気がなかなか出てこない子どもをどうしていくかということは、課題と思っております。ご指摘の④が小学校で比較的高い、それから中学校でも全国よりも高いという状況についてしっかりと受けとめて対応していかなければいけないと思います。今年度は無記名式アンケートを9月に行っていますけれども、その中で、学校が楽しくないというようなところでのその理由を解いていくというようなことも行いますので、しっかりと見取っていければなと思っております。

○教育長　　その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第4を議題とします。

(日程第4 平成30年度目黒区立学校におけるオリンピック・パラリンピック教育について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございますか。
- 委員 実際に子どもたちの反応で把握されているものがあれば教えてください。
- 説明員 残念ながらアンケートとして子どもたちの様子をとったところではございませんが、例えばオリンピック・パラリンピアンを学校に招聘した場面で、本物の熱意ある選手の思いに触れて、実際にその競技をしている様子を見て、子どもたちの歓声の上がり方が違うということで、意欲を持ってスポーツ志向を高めているというところが、うかがわれるという報告は受けております。
- 委員 オリンピアン・パラリンピアンは普段接することがない方たちなので、こういう方たちの話を聞けたり、あるいは競技を行っているところを見るのは、子どもたちにとって心に残る大事な機会だと思いますので、有効に活用していただきたいと思います。要望です。
- 教育長 1ページ目の2の(2)のウの②なんですけれども、オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界のスポーツの祭典で平和の祭典でありますけれども、大会後のレガシーが重要です。ここが一番のポイントです。ここで2行でうたっていますけれども、具体的にどういうノウハウを言っているのか、それからネットワークは何を言っているのかを、少し文章で記述する必要があると思います。例えばボランティアマインドとか障害者理解とか豊かな国際感覚という、そういったものがノウハウだと思いますし、ネットワークについても防災の関係とかいろいろなことを説明いただいておりますけれども、どういったネットワークなのかというのを例示をしていただきたいと思います。それが脈々とこの東京に日本に生かされていくかどうかというところが、最終的に成功だったかどうかの分かれ目だと思いますので、ここは重要視して記述を加えていただきたいと思います。これは要望です。
- 委員 このオリンピック・パラリンピアンとの交流の一覧表は、各学校の先生方、校長先生方はそれぞれ共有なさっているのでしょうか、例えば自分のところはこの人を呼んだけれども、こちらの学校はこの方を呼んでいる、だったら自分も呼んでみたいとかいう

こともあると思います。

○説明員 今週末に合同校（園）長会がございますので、今日報告させていただいた内容は、この資料とともに校長先生方にお知らせし、さらに活動を活発にしてほしいという願いも伝える予定です。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようでしたのでこの報告を受けました。
次に日程第5を議題とします。

（日程第5 区立中学校教諭に関わる事件への対応について（報告事項））

○説明員 （資料により説明）

○教育長 この件についてご質問等はございますか。

○教育長 冒頭、課長からも謝罪がありましたけれども、責任については、第一義的には学校教育法で校長は、校務をつかさどり所属職員を監督するという規定がされておりますので、その上司に当たる者も最終的に及ぶと思っております。任命、人事権を持っている東京都教育委員会が、懲戒処分を行うということになるかと推察はしておりますけれども、地方教育行政の組織及び運営に関する法律でいうと、各学校教職員等の県費職員についての服務監督権は目黒区教育委員会にありますので、目黒区教育委員会を代表する教育長としても一定の責任を感じているところです。今後の対応については的確に対応してまいりたいと考えております。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようでしたのでこの報告を受けました。
次に日程第6を議題とします。

（日程第6 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について）

○説明員 （資料により説明）

○教育長 この件についてご質問等はございますか。
特にないようでしたのでこの報告を受けました。

資料配布

- ・平成30年度目黒区立中学校案内 めぐろの中学校
- ・夏季休業明けの児童・生徒の欠席状況について

○教育長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時33分閉会)